

オープンキャンパス 2017 アジア史企画

アジア史の文字と史料

日時 8月2日(火)～4日(木) 会場 リバティータワー6階1064教室
ガイダンス 第一部 10:10～10:40 第二部 13:20～13:50
模擬授業 第一部 11:20～11:50 第二部 14:30～15:00

8月2日～4日は、アジア史専攻の専任教員が大学で学ぶアジア史について語ります。共通テーマは「アジア史の文字と史料」です。多様な文字と言語と書写材料からなるアジアの歴史史料の解釈を、アジアのお茶を味わいながら考えたいと思います。

江川ひかり 教授「アラビア文字を書いてみよう」

(8月2日第一部)



イスラーム地域の歴史研究に不可欠なアラビア文字の基礎を学び、アラビア文字を書いたり、アラビア文字で書かれた文書を解読していきます。

櫻井智美 准教授「モンゴル帝国治下中国の文字と言語」

(8月2日第二部)

モンゴル帝国治下の中国ではどんな文字・言語が使われたのか、石刻・文書・典籍史料からみていきます。



寺内威太郎 教授「清代の満州語と漢語」

(8月3日第一部)



清の時代に満州語はどのように使われていたのか、満州語と漢語で書かれた文書を読みながら確かめてみたいと思います。

高田幸男 教授「近代中国の女子高生たち」

(8月4日第一部)

近現代の様々な史料を紹介した後、社会学的調査報告から近代中国の女子高生たちを取りまく社会に迫ります。



高村武幸 准教授「中国木簡 三国時代の名刺を書く」

(8月3・4日第二部)



竹簡・木簡の時代は、紙の改良後も続きました。その理由を、実際に木に筆で文字を書いて木簡の名刺を作りつつ考えます。(実際に筆で文字を書くので手や衣服などが汚れる可能性があります。ご了承の上、ご参加下さい)